



特定非営利活動法人 女性技術士の会 ニュースレターvol.16



今年の夏は酷暑です。みなさま、いかがおすごでしょうか。
本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみ
なさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。
第16号では、2013年4月～6月の活動報告、会員からの発信、リ
レーエッセイ、運営報告、今後の活動予定などをお届けします。
楽しい記事が満載です。どうぞ、お楽しみください。

CONTENTS

活動報告		2 ページ
■ 2013/4/19	山梨大学「理系女性のキャリア形成」講義	2 ページ
■ 2013/5/18	第6回通常総会・技術発表会	2 ページ
■ 2013/5/24	ポートフォリオ第2回編集委員会	2 ページ
■ 2013/6/15	第18回技術サロン（WPETF 活動への協力）	3 ページ
会員からの発信		3 ページ
■ 萩原由起子さん	「一大決心!？」	3 ページ
リレーエッセイ		4 ページ
■ 千木良美由紀さん	「日々旅にして旅を栖とす」	4 ページ
技術サロン参加学生からの感想		5 ページ
■ 野田真優子さん	「技術サロンに参加して」	5 ページ
会員の受賞		6 ページ
■ 石田佳子さん	公社) 日本技術士会 平成24年度会長表彰受賞	6 ページ
■ 関矢英士さん		
会員の記事掲載		6 ページ
■ 岩熊まきさん	「女性技術者のキャリア形成を支援する」(月刊技術士5月号)	6 ページ
運営報告		6 ページ
今後の活動予定		6 ページ
■ 2013/8/9	女子中高生夏の学校 2013	6 ページ
■ 2013/9/21	第19回技術サロン（WPETF 活動への協力）	7 ページ
■ 2013/10/17	第7回日韓女性技術士交流会	7 ページ
■ 2013/11/9	おもしろいまちづくりシンポジウム第6弾	7 ページ
■ 2013/11/11～13	第4回日中韓女性科学技術指導者フォーラム	7 ページ
■ 2014/10/20～25	ICWES16（国際女性技術者・科学者会議）	7 ページ
技術士をめざして		8 ページ
■ 安達ふみのさん	「日常を作る!」	8 ページ

活動報告

■ 山梨大学「理系女性のキャリア形成」講義

◆ 開催日：2013年4月19日（金）13：10～14：40

◆ 場 所：山梨大学工学部 T1-11 教室

◆ 活動形態：要請参加

◆ 主 催：山梨大学

◆ 参加者：本会；廣瀬 受講者；学生 50 名（男女）

稲垣意地子先生（山梨大学女性研究者支援室）

◆ 経 緯：「理系女性のキャリア形成」講座の一環として技術士を紹介する。

◆ 目 的：企業内で働く技術者に必要なことは何かを知ってもらう。特に JABEE 課程の学生には、技術士資格取得の方法・メリット等を理解してもらう。

◆ 概 要：・技術士とはどんな資格か（技術者の定義・プロフェッションの定義）
・私の経験（技術者の役割・やりがいとは何か）
・学生へのアドバイス

今回は、今までで最も受講者が多く会場が大きい教室になった。受講者は全員が技術者を目指す学生ばかりではないが、それぞれが社会に出て働く時に大切な心構えのヒントになるような話ができるように心がけた。自分自身の体験（仕事を続ける工夫など）を本音で話すことで、学生にも具体的な興味を持って積極的に参加してもらうことができた。父が技術士であるという学生もいて、特に土木系の学生は技術士を取りたいと思うきっかけになったようだ。

■ 第 6 回通常総会・技術発表会

◆ 日 時：2013年5月18日（土）

14：05～14：50（第 1 部） 15：10～16：50（第 2 部）

◆ 場 所：大田区産業プラザ Pio6 階 C 会議室

◆ 概 要：第 1 部の第 6 回通常総会は、正会員 69 名のうち出席者 18 名、委任状提出者 33 名であり、総会成立条件である正会員の 1/2（35 名）以上に達したことから成立した。

以下の議案が原案通り承認された。

- ・第 1 号議案 平成 24 年度事業報告及び収支決算に関する件
- ・第 2 号議案 平成 25 年度事業計画及び収支予算に関する件
- ・監査報告

第 2 部は、会員の活動状況が知りたいとの声を受け、技術発表会を実施した。山本敬子氏は「途上国の水問題と日本の協力」、川上紀子氏は「日本のエネルギー供給と再生エネルギー導入時の課題」をテーマに講演した。

総会後の親睦会兼新入会員の歓迎会は 24 名が参加、楽しく歓談し会員同士の交流が深まった。



■ ポートフォリオ第 2 回編集委員会

◆ 日 時：2013年5月24日（金）

◆ 場 所：NPO 法人地域自然情報ネットワーク事務室

◆ 参加者：青木、犬走、角田、木村（了）、笹尾、佐藤、藤井、吉川

◆ 概 要：7 月中の完成を目指して今後の作業分担などを打ち合わせた。

■ 第18回技術サロン（WPETF 活動への協力）

◆ 日 時：2013年6月15日（土）13：30～16：00

◆ 場 所：公社）日本技術士会 豊手第2ビル

◆ 活動形態：協力

◆ 主 催：公社）日本技術士会 男女共同参画推進委員会

◆ 参加者：委員会；石田、岩熊、角田、小林、笹尾、千木良、廣瀬 WPETF；喜多 本会；平塚
ゲスト；斎藤尚樹氏（文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課課長）

一般参加者；13名（女子学生2名、社会人11名） ※アンダーライン付記は本会会員

◆ 経 緯：WPETFの主な活動目的の一つである女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、JABEE課程と技術士制度の説明及び先輩女性技術士との懇談を企画したもの。

◆ 目 的：技術者を目指す女子学生が、技術者としての自分の姿を思い描き、学校での勉学をもとに、充実したキャリアを積んでいけるよう、女性技術士と意見交換をする場を提供すること。

◆ 概 要：フリーディスカッションでは、技術士受験における勉強法、部門の選択、資格取得のメリットなどについての質問のほかに、目指すべき姿についての質問もあった。



会員からの発信

■ 萩原由起子さん（環境部門） 「一大決心？」

みなさま、初めましてアクア環境株式会社 代表取締役 萩原由起子と申します。機械いじりが大好きで、『ロボットが作りたい』との思いから、工学部に進むことを夢に勉強に励んでいた高校時代でしたが、工学部の受験にすべて失敗し、浪人生活が始まるのか～との希望も、受かっているのだからと親に泣きつかれて、薬大へと進むことになりました。

物理が大好きだった私が、なぜに化学の学校にいるのだろうか悩んだ時期もありましたが、あまりくよくよせず、与えられた状況に柔軟に溶け込んでいく性格からか、薬大での4年間は忙しいことを除けば、楽しいものでした。薬大へ進学したのだから、薬剤師かMRか……。そんな感じの就職希望者が多い中、研究者になりたい夢をあきらめきれずに教授の推薦もあって企業への就職を果たします。それが、私と環境との出会いでした。

私が就職したころは、環境分析においてちょうど転換期を迎えていました。それまでは、滴定分析や比色分析といった化学反応を利用したものが多かったのが、原子吸光、ガスクロ、液クロ、そして、ガスクロマトグラフ質量分析計（GC/MS）の四重極型といった機器分析の登場でした。それまでの磁場型のGC/MSは実験室を一つ埋め尽くすような大きさだったものが、四重極型の実験台に乗るコンパクトなサイズが出て、あっという間に広まり従来の分析方法をことごとく変えていき、低濃度の微量測定を可能にしました。物理が大好きな私は、これらの機械のとりこになって、普通じゃ考えられないでしょうが、メーカーの担当者も驚くほど機械をバラバラにして組み直す……。多少の修理は自前でできるほど嵌ってしまいました。（笑）

環境の分析者になるなんて、学生時代の私には考えてもなかったですし、そんな職業があることさえ知りませんでした。でも、この世界に入って、いろんな資格を取得して本当に楽しく仕事をしていたところに、私の転換期は訪れました。いろんな事情から会社を辞めるという決断をしました。

さて、やめるはいいのだけど、そのあとをどうする？と考えた時に、1つ、別の同業者に転職する、1つ、薬剤師になる、の二者択一のはずが、どちらも一長一短で決められずにいたところ、「じ





沖縄の海でカメラとツーショット

「あ、独立しちゃえば」というアドバイスに、『そんなの無理無理・・・』と答えたのですが、「何が無理なの？」という前向きな意見を突き付けられて、『お金がない』と答えると、「じゃあ、いくらいるの？1万円が高いという人もいるし、1億が安いという人もいる。できない根拠は何？」と言う哲学的な問いかけに、もしかしてできなくないんじゃないかと錯覚させられて（笑）・・・。その決断から9か月後に、環境分析の株式会社を立ち上げました。この8月で丸9年、10年目に入ります。

世の中思い通りにはならないけど、前を向いていれば、何とかなるのかな。いろんな人と出会い、それが私の宝でもあります。そして、これからの素敵な出会いに期待を込めて。

リレーエッセイ

■ 千木良美由紀さん（建設部門・総合技術監理部門） 「日々旅にして旅を栖とす」

空間を移動することに、どうしてこんなに魅力を感じるのだろうか？

私は旅行が大好きだ。調査、取材、会議、観光、友人訪問……目的は問わない。日常を放り出して普段暮らしている土地を離れ、異邦人として過ごす時間は何ものにも代えがたい。

私が初めて海外を旅したのは大学の卒業時で、「地球の歩き方」とその場の現地情報を頼りに、約1ヵ月かけて欧州各地を歩き廻った。当時は250円/\$で、国境で各国通貨に両替するたびに目減りすることが気になるほどの節約旅行ではあったが、すべてが初めての体験で刺激的だった。

家族4人で出かけていた頃は、準備はほどほどで宿は予約せず、レンタカーで行き当たりばったりということが多かった。家族旅行の良さは、幅広い層・世代の人々と知り合えることだ。たいていの人は親切に応じてくれる。そのお礼に「ポケモンカード」と100円グッズを持参すれば、さらに仲良くなれること請け合いだ。ポケモンの威力は説明不要だろう。大人に折り紙で鶴を折って見せると大絶賛され、筆ペンで書道二段の腕前を披露すると、必ず「空手」「忍者」をリクエストされる。どこでも女の子はキティーのかわいいアクセサリーが大好きだ。準備不足を行く先々の人々に助けられ、草の根の異文化体験を満喫できた。



家族旅行は子供が小さいうちだけ……

近年は息子たちが成人し、また国際会議の機会にも恵まれ、一人での渡航が増えている。私は一人旅が苦にならない。事前にウェブサイト調べ、行きたいところ・やりたいこと・見たいものを



世代を超え女性同士すぐに仲良くなれる

執拗にリストする時のワクワク感は格別だ。少しでも多くを体験するために、鉄道ミステリーさながら、分単位管理の移動ルートを検討しておく。連泊の時は、コンドミニアムに滞在し自炊する。一人旅の弱点は外食しにくいことに尽きる。一方、行動は100%自由気儘、これほどの開放感の機会には他にない。旅の恥はかき捨て。興味あることは迷わずチャレンジしてみる。事前調査で見落とししたことこそ、真の旅の魅力が宿っているのを毎回のようを知る。

帰国後は、写真や資料の整理とトラベルノート制作で、睡眠不足が数週間続く。どんなに準備を尽くしてもやり残し・心残りがあり、限りある時を大切にすることを痛感する。もう一度訪れたいノスタルジーと未だ見ぬ都市へ向かう好奇心の葛藤には、なかなか決着がつかない。

あれもこれもと俗物根性甚だしいが、何かを求めて旅に出るのではない。どんなものがあるかわからないからこそ、行かずにいられないのだ。得られるものは、小さい田舎町の湖畔の夕景、日本では見ることのない遥かなる土色の地平線、天に向かう教会での魂の昇華、あるいは、名前を覚

えられない地元料理かもしれない。10年たっても文通で続く国境を越えた友情は私の宝物だ。

さて、最近は日常的な小旅行として、夫と散歩を日課にしている。平日のうち3日は、6km以上歩いている。勤務地の神田から、日本橋、京橋、銀座、茅場町の裏通りを巡り、深夜帰宅する。週末は、気になる目的地に地下鉄で出かけて行くが、これといって用事があるわけではない。風任せ・足任せで放浪し、半日掛かりで帰ってくる。途中、道草なしという訳にはいかない。あっちの居酒屋で1皿、こっちの焼き鳥屋で1串、熟年夫婦の特権で丼物は半分ずつ、念願の深夜デザートのカフェも発見した。日付が替わった頃、地元の門前仲町に辿り着き、さらに馴染みのところの日替わりメニューを覗く、という日々である。

30年前から私は、故人が隠棲したという深川に暮している。百代の過客としてふらふらご近所を巡り、漂泊の思いに駆られて海外逃亡を繰り返す。気が付いたらあの世にまで来てしまっていた……が理想である。

旅に病んで夢は枯野を駆け巡る 芭蕉



技術サロン参加学生からの感想

■ 野田真優子さん（福島大学共生システム理工学類3年） 「技術サロンに参加して」

福島大学の野田真優子です。私が技術士という資格のことを知ったのは大学一年生の時で、そのころから技術士のことについて少し興味を持っていました。一次試験を受験したことは無かったのですが、ずっと技術士がどのような仕事をしているのかなど具体的なことが知りたいと思っていたため、今回のお話を先生からうかがった時はとても嬉しかったです。

実際に技術サロンに参加させていただき、緊張もしましたが思っていたよりももっと濃い時間を過ごすことが出来たと感じました。もともとお聞きしたかった技術士のことをお聞きできたのももちろんのこと、一緒に参加していた女性社会人の方にリアルな話をお聞き出来たのもその理由の一つです。

技術士のことについては、実際にどのような活躍をされているか、会社の中でどのような役割をされているのかを聞くことが出来ました。技術士という資格を持っている人がいないと成り立たない会社があることや、退社してからも技術士という資格を活かして市民の間で一役買うなどのお話を聞いて興味深かったです。やはり実際にお話を聞くといろいろと想像しやすく、技術士という資格を持つ人が社会でどのように活躍をしているのかを今までより理解できたと思います。実際にどのような活躍をしているか想像できなかったときは試験の内容も簡単ではないため、勉強のモチベーションもなかなか上がりませんでした。しかしこの機会を通じて、自分も頑張ってみようと思えるようになりました。また今回の技術サロンに参加して、知りたいと思った時にその場で質問ができてとても嬉しかったです。私の場合は技術士の資格を持っている知り合いもいないので、技術士のことについて疑問を持った時にその疑問を結局解消できないこともありました。今回同じように参加していた方々も、技術士について様々な疑問やお聞きしたいことがあったようです。きっと様々な疑問を持っている人がまだたくさんいると思うので、このような機会をもっと多くの人を知ることができればと感じました。

また技術士についての疑問や悩みを解消するとともに、それらの悩みを周りの人と共有できるというのも自分の中の世界を広げることにつながりよかったです。特に社会に出た女性たち特有の悩みなどは、学生にとってはあまり感じたことのなかったことも多くて驚きました。なんだか自分がいかにせまい世界の中でしか過ごしていないのかを気づかされた気がします。このような学歴も年齢も関係なく技術士の資格を目指している人が集まるというのは、だれにとってもプラスになるこ

となのではないかと思います。これを機に、もっと広い視野をもって様々なことに目を向けていけるようになりたいです。

今回の技術サロンが終わって振り返ってみると、技術士のことを知ることができたというのさることながら新しい縁や考え方など、ほかにも大きなものを得ることができたことに気が付きました。この貴重な経験をきっかけとして、今後いろいろなことに挑戦していったり試験勉強を頑張っていきたいと思います。

会員の受賞

- 石田佳子さん 関矢英士さん（公社）日本技術士会 平成 24 年度会長表彰受賞
会員の石田さん、賛助会員の関矢さんが 2013 年 6 月 18 日の（公社）日本技術士会第 55 回定時総会にて会長表彰を受賞されました。おめでとうございます！

会員の記事掲載

- 岩熊まきさん 「女性技術者のキャリア形成を支援する」（月刊技術士 5 月号）
会員の岩熊さんの執筆した記事が（公社）日本技術士会発行の月刊技術士に掲載された。
本記事で、男女共同参画の意義、（公社）日本技術士会男女共同参画推進委員会の目的、技術者を
目指す女性向け技術サロンの開催や女性技術者のキャリア形成支援、男女共同参画学協会連絡会への参加などの活動内容を紹介している。

運営報告

主体	日時	議題
理事会	6 月 8 日（土）10:00～12:00	各部会活動報告及び部会固有活動の確認、現行プロジェクト等今期活動の確認、他
企画部会	6 月 6 日（木）19:00～21:00	おもしろいまちづくりシンポジウム第 6 弾について、他
広報部会	7 月 11 日（木）19:00～21:00	理事会協議内容の伝達、ニュースレター（vol.16、vol.17）、女子中高生夏の学校 2013、広報部会の HP 上での発信内容、他
総務部会	—	会計および入退会、メールアドレス等変更に関する事務 総会運営（事務局と共同）
国際部会	6 月 11 日（火）19:00～21:00	日中韓女性科学技術指導者フォーラム準備、日韓女性技術士交流会準備、ICWES16 準備等について
	6 月 27 日（木）18:30～20:00	（INWES-Japan 運営委員会）日中韓女性科学技術指導者フォーラムについて、事務局長引継ぎ、2012 年度会計報告

今後の活動予定

- 女子中高生夏の学校 2013 ～科学・技術者のたまごたちへ～
 - ◆ 日 時：2013 年 8 月 9 日（金）13：00～17：00
 - ◆ 場 所：（独）国立女性教育会館（〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地）
 - ◆ 対 象：理系を目指す女子中高生
 - ◆ 内 容：本企画は、（独）国立女性教育会館が、（独）科学技術振興機構（JST）の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の委託を受けて毎年実施しているもので、本会はブースを設け、ポスター展示・キャリア相談を行なう。女子中高生に理系の幅広い研究分野の魅力に触れてもらうと同時に、実際に企業や大学、研究機関等で働く科学者や技術者と交流する

ことで、将来のキャリアイメージを掴んでもらうことを目的としている。

■ 第19回技術サロン（WPETF 活動への協力）

- ◆ 日 時：2013年9月21日（土）13：30～16：00
- ◆ 場 所：公社）日本技術士会 荳手第2ビル
- ◆ 対 象：技術者及び技術士を目指す女子学生・女性
- ◆ 内 容：「技術士」資格に関する説明、意見交換会
- ◆ 定 員：15名
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 申込先：廣瀬由紀 wpetf@pej-lady.org

■ 第7回日韓女性技術士交流会

- ◆ 日 時：2013年10月17日（木） ※ 参加者・発表者募集中
- ◆ 場 所：韓国京畿道水原市 IBIS Ambassador Suwon（Hotel）
- ◆ テーマ：未来科学技術時代における技術士の役割
- ◆ 参 考：公社）日本技術士会主催 第43回日韓技術士会議
10月17日（木）～19日（土）開催

■ おもしろいまちづくりシンポジウム第6弾

- ◆ 日 時：2013年11月9日（土） ※ サイエンスアゴラ開催期間内
- ◆ 場 所：日本科学未来館館内またはその周辺
- ◆ テーマ：生きもののいるまちづくり（生物多様性は必要か？）
- ◆ 講演者：東京農工大学名誉教授 亀山章氏
- ◆ パネリスト：恵泉女学園大学准教授 澤田みどり氏
- ◆ 連絡先：藤井由美 info@pej-lady.org

■ 第5回日中韓女性科学技術指導者フォーラム

- ◆ 日 時：2013年11月11日（月）～13日（水）
- ◆ 場 所：東京都内（詳細未定）
- ◆ テーマ：科学技術分野における女性リーダー育成教育
- ◆ 主 催：日本大学、INWES-Japan 共催
- ◆ 内 容：11日（月）文科省女性研究者支援合同シンポジウム
12日（火）日中韓女性科学技術指導者フォーラムシンポジウム
13日（水）会議予定
- ◆ 連絡先：木村了 info@pej-lady.org

■ ICWES16（国際女性技術者・科学者会議）

3年に1度のICWESが来年開催！（本会は第11回から参加）

- ◆ 日 時：2014年10月20日（日）～25日（金）
- ◆ 場 所：アメリカ、ロサンジェルス
- ※ 詳しい予定は、情報が届き次第本ニュースレター及び全体メールで紹介

技術士をめざして

■ 安達ふみのさん（建設部門）「日常を作る！」

はじめまして、安達ふみのと申します。私は現在、鉄道会社で軌道の保守業務に携わっています。いつか、技術士を取得し、技術士に値する知識や人間性を持ちたいと思い技術サロンに参加しました。

私は、公共物を通して人の役に立つ仕事がしたいと思い、苦手な物理と戦いながら、大学の土木学科である都市環境デザイン工学科に進み、鉄道会社へ就職しました。

入社一年目の業務は、おもに土木、軌道、建築のご意見（苦情）処理や予算の管理でした。ご意見は、夜間工事のご意見や、電車の通っている真上の方からのご意見がありました。また、入社した2011年が東日本大震災の直後の年であったため、地震による構造物の影響を危惧した声も多く寄せられました。



入社二年目より、軌道の現場管理の業務に携わっています。軌道の業務は、昼だけでなく夜も仕事を行います。おもに昼間の現場では、トンネル内で営業列車のすぐ脇を歩き、線路や構造物を点検します。夜間の現場では、昼間の点検や検査の結果により発見した補修が必要な箇所の工事を行います。夜間工事では、終電から始発の時間で全ての作業を安全に終了しないといけないので、現場の空気は引き締まります。また制約されるのは時間だけではありません。私の保守区間は地下構造物であるため、空間も制約されているのです。レール交換の際、レールとトンネルの壁に挟まれる、といった地上であれば逃げ場があるため起こる可能性が低い事故も実際起きています。そのため、現場の安全管理や始発を走らせるための時間の管理を行っています。

入社するまでは公共物を通して人の役に立つには、ものを作ることが出発点だと思っていました。しかし、長く続くレール上に、巡回時に私の締めたボルトが一つ、二つと増えていくうちに、私は安全を作り出していて、それが“レール”といった構造物、またその上を走る“電車”といった公共物を通して、当たり前な日常という安定・安全を作り出し、人の役に立っているのだ、と思えるようになりました。工期のある仕事と異なり、保線や保守土木の業務には終わりが見えません。入社一年目のときに、ご意見処理で電話対応をしたときのお客様の残念そうな声が今でも耳に焼き付いています。公共物があるがゆえの不便や不愉快を感じさせてしまってはいけない、と思いました。構造物の劣化を防ぐために、自分たちが勉強すべき技術はたくさんあると感じます。それだけでなく、劣化による不具合をお客様が感じないようにするためにも勉強すべきことはたくさんあるとも思います。

鉄道は様々な人が利用する構造物、公共物ですが、実際働いている方は男性が非常に多い世界です。ただでさえ難しい技術士を女性が目指せるのか、不安に思っていました。しかし、サロンに参加したことによって、女性だからといって線を引いているのは自分自身で、頑張るのも自分自身だと実感することができました。

私の仕事は線路という構造物相手ではありますが、その先にはそれを利用するたくさんの方がいるということをお忘れず、目の前の業務に携わりたいです。人に何百年かけて必要とされる構造物・公共物を作り出し、維持するために、学ぶ気持ちを忘れず、技術士の資格を取得できる知識を蓄えようと思います。

[ニュースレターについてのご意見・ご感想はこちらまで：info@pej-lady.org](mailto:info@pej-lady.org)

2013年第2号 通巻第16号 発行責任者：特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 木村了